

【学校教育目標】「確かな学力 豊かな心 健やかな体」  
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校便り No.12  
令和8年6月24日発行  
文責 校長 梶原 康裕

キラ・ニコ・ドン・パツ

キラキラ輝く子ども ニコニコ笑顔の子ども ドンドン挑戦する子ども パツと行動する子ども



## 梅雨入り

校門前の坂道に咲いている花があります。「この花なんだろうな？」と  
思って、Google レンズにかざしてみると「アガパンサス」という宿根草  
で、毎年梅雨時期に咲く花だそうです。それからというもの、学校に通  
勤する途中、民家にところどころ咲いていることに気づきました。淡い  
紫色をしてアジサイとともに学校を彩っています。毎年、子供たちの登  
校の様子を見守ってくれていると思うと感慨深いです。



見入ってしまいます

## 秋の収穫が心配になりまして

大きな銀杏の木が2本ありますが、まだ青い実をした銀杏の実がここ3週間ほどずっと落  
ち続けています。用務員の市木さんを中心に職員で毎日掃いています。「この時期にこんな  
に実が落ちるのは初めてのこと、秋の収穫は大丈夫だろうか…」と職員  
も心配しておりましたので、写真を撮ってチャッピーに尋ねたところ、木  
自ら実の数を調整するために、未熟な実を自然に落とす現象で「生理落  
下」と呼ばれるものだそうです。十分に大きくなっていない実を優先的  
に落として、生き残った実に養分を集中させるということでした。必ず  
しも不作になるのではなく、実がつきすぎていた年や気が健康な年に落  
ちるとのこと。10月の最盛期にどのぐらい収穫できるのでしょうか…。



毎日すごい量です

## みんなの協力のおかげで

先日の縦割り活動では、11月の修学旅行で6年生が長崎の平  
和学習に持っていく千羽鶴作成のため折り鶴を作りました。さす  
がに高学年になると手順もすっかり覚えていて、低学年に教える  
姿が見られました。こうして、全校みんなが集まり、高学年が低  
学年に教えることで、リーダー性が育まれると共に、高学年に対  
するあこがれの思いも出てきます。同学年のつながりも大切ですが、  
異年齢の集団がこのように関わる機会がとても大切です。



上手に鶴がお折れるかな

## 大丈夫でしょうか…？

運動場西側の伊岐佐ファームにズッキーニを植えていました。  
「そろそろ収穫時かな～」とっていた矢先に、なくなっている  
じゃないですか！！その後も何本か同様にやられました。という  
ことで、子供たちの手を借りて、周りに網を巡らせました。また、  
5、6年生の畑のきゅうりにも網を張っています。しかし、動物  
たちもよく知っていますね。感心します…(-"-)



今のところ被害はないです